

工務店にベトナム実習生

ネクストワン

住宅メーカーのネクストワンインターナショナル(千葉市・遠藤 一平社長)はベトナム人の技能実習生を受け入れた工務店を支援する事業を始める。人手不足の工務店から要望を聞き取り、現地での面談や来日に必要な事務手続きなどを工務店の代わりに手がける。実習を終えたベトナム人の一部はネクストワンの現地法人で雇用し、現地の住宅施工などに携わってもらう。

ネクストワンはまず受合(東京・中央)の間にけ入れたい工務店から学歴や性格、年齢など要望を聞き取ったうえで、現地の日本語学校を訪問、条件に合った生徒を選考する。国営の送り出し機関と、中小企業でつくる日本側の受け入れ窓口になる東京日本橋経済協同組

受け入れ手続き支援

実習後は現法で雇用

関心は高い(遠藤社長)。同社の下請けの60社を中心にセミナーや建設現場の見学会を開き、2014年中に100人の受け入れを目指す。



▼技能実習制度 外国人に日本で農漁業や建設業などの技術を最長3年間学んでもらい、人材育成を通じて母国の発展を後押しする制度。現地の送り出し機関が選考や半年間の日本語教育を行ってから、日本の協同組合が国内で1カ月間講習を実施したのち、日本企業に派遣される。深刻な人手不足を受け、政府は実習期間の見直しなどを検討し始めた。

3年の実習期間を終えたあとは希望に応じてベトナムの現法で雇用、住宅やオフィスの内装を手

がけてもらう。遠藤社長は支援事業の狙いを「手数料収入に加え、ベトナムで即戦力となる職人を育てる意味合いもある」という。

現場は職人不足深刻

技術伝承には社員採用も

建設現場では公共工事の削減に伴い、人員を減らしてきた。そこに東日本大震災の復興工事や住宅需要の回復が重なり、深刻な職人不足に陥っている。千葉労働局によると、1月の建設関係の有効求人倍率(原数値)は3.92倍と前年同月比0.99倍も上昇した。2020年の東京五輪を控

建設業の求人倍率は1年で大幅上昇した

	2014年1月	2013年1月
建設	3.92	2.93
サービス	1.74	1.39
販売	0.66	0.6
事務	0.21	0.17
全 県	0.82	0.65

(注)有効求人倍率。単位数。千葉労働局調べ

え、インフラ整備が進む今後はさらなる人手不足が見込まれる。県内のある工務店経営者は「日本人の若手は長続きしない」と嘆く。アルバイトでも生計が立てられるため、せっかく技術を教え込んでも一人前に育つ前に辞めてしまおう」という。こうしたなか、外国人の技能実習生に期待する工務店は多い。

ブラジル通貨扱い開始

千葉銀・京葉銀、成田で来月

W杯にらむ

千葉銀行と京葉銀行は4月から、成田空港で円をブラジルレアルに両替できるサービスを始め

W杯や五輪開催をにらみ、JTBなどの旅行会社は日本チームの海外での試合を観戦できるツアーを用意している。こうしたツアーに参加する日

を軽減する。「レアルが投資対象として注目を集めていることも理由の一つだ」(千葉銀という。千葉銀では併せて今春からメキシコペソとトルコリラの取り扱いも始める予定で、成田空港で両替できる外国通貨の数は計26種類になる。京葉銀の取り扱い外貨数はレアルを含めて計29種類に増

ANAホールディングス傘下の格安航空会社(LCC)、バンナ・エアと京成電鉄は、クイズに答えると

クイズに答え航空券 月内、共同キャンペーン

したもので、キャンペーンを通じて利用を促す狙い。31日まで応募を受け付ける。専用のウェブサイトでクイズの答えや希望商品を記入して応募する。3回に分けて開催し、期間内であれば1人あたり最大3回まで応募できる。成田1ソウが好調で、今回のキャンペーン便や成田1札幌便のLCCの往復航空券のほか、京

三井 島建設 (神奈 4日、一 大型制 を公開 重りを 2011 の新 グ(東 部分に 最大級 「いちば の運転